

Femme fatale

ファミ ファタール — 運命の女

ブッチャーニ作曲
歌劇「トスカ」
全幕よりハイライト
オペラとオーケストラの夕べ

2012年6月7日(木)

開場/18:30 開演/19:00

紀尾井ホール

ソプラノ:
谷口久美

バリトン:
与那城敬

テノール:
小貫直夫

指揮:
園田隆一郎

program

チケット

S 席 ¥7,000
A 席 ¥6,000
学生 ¥3,000

チケットお申込み お問い合わせ先

株式会社 ATORU
FAX: 03-5775-1956
TEL: 03-3366-3798
atoru.japan@gmail.com

フラメンコ:
石井智子

歌劇「カルメン」より前奏曲
歌劇「カルメン」より
“ハバネラ”
歌劇「カルメン」より
“闘牛士の歌”
1部 歌劇「トゥーランドット」より
“誰も寝てはならぬ”
歌劇「アドリアーナ・ルクヴール」より
“私は卑しい芸術の僕”
歌劇「ドン・カルロ」より
二重唱“共に生き 共に死ぬ” 他

2部 歌劇「トスカ」よりハイライト

*当日座席が変更される場合はご了承ください。

主催/株式会社 ATORU 衣装協力/クリスチャン ディオール株式会社
後援/イタリア文化会館 協力/アニヴェルセル表参道、mutsuko nakamura Roses

message

子供の頃のピアノのレッスンは私にとっては苦痛以外の何ものでもなく、カトリックの学校で歌った讃美歌はいつも口パク。やがて音痴は私の数あるコンプレックスの一つになっていました。このコンプレックスを払拭するために始めた声楽でしたが、いつしかオペラにはまってしまった私は日本のオペラ界で注目を浴びておられる歌手の先生方と2年前に出会い、本格的なオペラの指導に恵まれました。そして夢の夢だったオペラの舞台を踏むことになったのです。

テノールの小貫岩夫さんとバリトンの与那城敬さんのような第一線で活躍されている素晴らしいオペラ歌手のお二人とご一緒に歌えるのは夢のようです。またイタリア在住で本場の歌劇場で指揮者として活躍されている園田隆一郎さんと華麗なフラメンコダンサーとして高名な石井智子にも支えられ、今回はディオールのオートクチュールや中村睦子氏の造花も楽しんでもいただけるお洒落な企画です。被災地に思いを馳せると心は晴れませんが、折しもフランス国家功労章を受賞した同じ年に、オペラを通じて皆様に元気や夢や感動をお届けできたら嬉しく存じます。そして幾つになっても夢は叶えられるという証になるような舞台を目指したいと思っています。

谷口久美

アニヴェルセル表参道
女声合唱団

赤瀬いづみ 鈴木保子
赤瀬みちる 橋本朋子
飯野浩世 日高千絵
泉文恵 細田明子
岩城潤子 細見貴子
木内裕子 三浦美智子
小森陽子 三邊美智子
小森裕子 室谷水奈
櫻井律子

石井智子スペイン舞踊団

桑木麗 小木曾衣里子
松本美緒 五味由貴歩
江口史恵 秋山玲子

谷口久美
ソプラノ

兵庫県芦屋市出身。関西学院大学文学部仏文科卒。パリ留学後 Christian Dior パリ本社入社、日本における初代代表に就任。テレビ番組「アートレポート」で現代アートを紹介しながら、長年ディオール顔としてファッション界で活躍。'90年より親会社 LVMH モエ・ヘネシー ルイ・ヴィトン ジャパンの広報ディレクターを務める。'02年、LVMH モエ・ヘネシー ルイ・ヴィトン ウォッチ・ジュエリー (株) の取締役に就任し、LVMH グループ傘下のジュエリー FRED を日本に進出させ、各地に販売拠点を展開。退職後は声楽に専念し、大阪国際音楽コンクールの2部門で入賞、神戸市長賞を受賞。現在はクリスチャン ディオールの顧問の傍ら、オペラのハイライトや数々のコンサート企画、出演。フランスのファッションビジネスに貢献したことによりフランス国家功労章受章。アニヴェルセル表参道女声合唱団を主宰。



©Kiyotane Hayashi

小貫岩夫/テノール

大阪音楽大学首席卒業。文化庁オペラ研究所第11期終了。飯塚新人音楽コンクール声楽部門大賞(文化大臣奨励賞)他、数々のコンクールで優勝、入選する。95年、堺シテオペラ『魔笛』タミーノ役に抜擢され、テオ・アダムら世界的歌手と共演し、デビュー。ドイツ・ケムニッツ市立歌劇場から招聘を受け、96年同役で出演し、98年より文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノへ留学。2000年、R. シュトラウス『サロメ』で新国立劇場デビューを飾り、その後二期会を中心に『忠臣蔵』『ニュルンベルクのマイスタージンガー』『鳴神』『コジ・ファン・トゥッテ』『トゥーランドット』で好演。2006年には武蔵野公演、なかにし礼作、世界劇『黄金の刻』で逗子王を歌い、活動の幅を広げた。09年には、ワーグナー『パルシファル』のタイトルロールを見事演じ切り、新たな境地を開いた。また二期会公演『魔笛』(実相寺昭雄演出、新国立劇場)には07年、10年と2回連続タミーノ役で出演し喝采を浴びた。近年は『こうもり』『チャールダーシュの女王』などで演技力を発揮している。コンサートでは、マルコ・アルミリアート指揮、読響による歌劇『道化師』他『第九』『メサイア』『レクイエム』などでも高い評価を得ている。ウィーン・オペラ舞踏会管弦楽団、ニューイヤーコンサート 2011年に引き続き 2012年のソリストとして舞台を飾った。2011年には兵庫県立芸術文化センターにて佐渡裕指揮『こうもり』アルフレード役で出演した。『第九』『メサイア』や『レクイエム』など、多くの演奏会のソリストとしても活躍している。2010年12月カメラータ・トウキョウから『いつも微笑み〜オペレッタ名曲集』をリリースした。二期会会員、二期会オペラ研究所マスタークラス講師。

石井智子
スペイン舞踊家

日本大学芸術学部を総長賞で卒業。5歳からバレエ、9歳からフラメンコを始め、その後、小松原庸子スペイン舞踊団において活躍し、スペインをはじめ世界の大舞台を何度も経験し大勢のスペイン人一流アーティストたちと競演を重ねる。同舞踊団を退団後も渡西を繰り返し、文化庁芸術家在外研修員としても派遣された。アントニオ・エル・ビバ、ミラグロス・メンヒバルらフラメンコ界のトップたちを招聘、共演を果たす。プリマとしての品格、存在感のある華麗な舞台で 2007 年度舞踊批評家協会新人賞を受賞した。2009 年 10 月にはスペインよりディエゴ・カラスコを招聘し共演。その翌年 2010 年 11 月には、ディエゴ・カラスコに加え天才フラメンコギタリスト、モライート・チコも招聘し 3 人で共演、その卓越したリズム感と他に類のない美しい舞台で好評を博した。2012 年 11 月にはスペインの伝説を題材にした舞台『ベテネーラ』を上演し、その活躍の域を広げた。また、1998 年より中央区銀座にフラメンコスタジオを開業し、後進の指導にも力を入れている。

園田隆一郎/指揮

東京藝術大学音楽学部指揮科卒。2000 年よりイタリアのキジアーナ音楽院の指揮コースにてジャンルイジ・ジェルメッティ氏に師事。2004 年にシエナ・ロータリークラブ「カルロ・コルシニ音楽賞」を受賞、2006 年には名誉ディプロマを取得した。2005 年五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。2002 年より文化庁在外派遣研修員としてイタリアに渡り、帰国後大学院を修了。野村国際文化財団、五島記念文化財団の奨学生として再びローマに留学。ローマ歌劇場、マドリッド王立歌劇場、シドニー交響楽団等のプロダクションでジェルメッティ氏やロッシニの権威アルベルト・ゼッダ氏のアシスタントとして研鑽を積んだ。2006 年、シエナで『トスカ』を指揮してデビュー。2007 年、藤原歌劇団『ラ・ボエーム』(東京フィル)を指揮して国内にデビュー。同年、ベネチアのロッシニ・オペラ・フェスティヴァル『ランスへの旅』、トスカ・管弦楽団やベネチア大劇場管弦楽団の演奏会を指揮した。2008 年ドイツのロッシニ・フェスティヴァル『アルジェのイタリア女』を指揮。2009 年は、カルロ・フェリーチェ歌劇場での演奏会、びわ湖ホール『魔笛』、ボローニャ歌劇場およびヴァッリ劇場『どろぼうかきさぎ』、藤原歌劇団『愛の妙薬』(東京フィル)の他、前年に続きロッシニ・フェスティヴァルに招かれ『どろぼうかきさぎ』を指揮した。2010 年にはベネチアのロッシニ・オペラ・フェスティヴァルに『テティとペレオの結婚』『ディドネの死』で再登場し、関西二期会『ドン・ジョヴァンニ』、2011 年には藤原歌劇団『ランメルモールのルチア』、トリエステ歌劇場での演奏会、びわ湖ホール『魔笛』、アントワーブとゲントでの『ランスへの旅』、トリエステ歌劇場『ピカソを探して』など、国内外でオペラと演奏会の両分野で活躍している。



©Rei HIRAMATSU

与那城敬/バリトン

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。同大学研究科声楽専攻修了。二期会オペラ研究所オペラ・ストゥディオ、新国立劇場オペラ研究所修了。第11回世界オペラ歌唱コンクール「新しい声 2005」アジア予選代表としてドイツ本選出場。第16回マリオ・デル・モノコ国際声楽コンクール第3位(1位なし)入賞。平成17年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリア・ミラノへ留学。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。これまでに『ドン・ジョヴァンニ』タイトル・ロール、東京二期会『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、小澤征爾特別コンサート『カルメン』エスカミリオ、北とぴあ国際音楽祭モンテヴェルディ『オルフェオ』アポリ、レオンカヴァッロ『道化師』シルヴィオ(読響)等で高い評価を得る。東京二期会『エウゲニー・オネーギン』オネーギン役、ベーター・コンヴィチューニ演出でも絶賛を浴び藤沢オペラ『メリー・ウィドー』にも主演。08/09 年トヨタコミュニティコンサート『ラ・ボエーム』マルチェロ役、横須賀芸術劇場オペラ：パーセル『ダイドとイニース』イニース、びわ湖ホール・神奈川県民ホール共催『トゥーランドット』、佐渡裕プロデュース『カルメン』など活躍が続く。2010 年は「NHK ニューイヤーオペラコンサート」に初出演を果たし、4 月には新国立劇場『愛の妙薬』(新制作)ペルコーレ役、6 月には新国立劇場〈世界初演〉池辺晋一郎作曲 オペラ『鹿鳴館』影山悠敏伯爵、11 年 4 月には東京二期会『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵にも出演した。また同年 6 月にはオペラシテリサイタルシリーズ「B+C」でも好評を博した。コンサートソリストとしても数多くのオーケストラと共演している。10/11 年読響とのベートーヴェン『第九』等のソリストとして活躍している。二期会会員 <http://www.yonashiro-kei.com/> (与那城敬 オフィシャルサイト)



©Kei UESUGI

友情出演
高田正人
テノール、
オペラ解説

東京芸術大学卒業。同大学院修了。二期会オペラ研究所第48期マスタークラス修了(優秀賞及び奨励賞受賞)。2001 年よりイタリア政府給費奨学生、国際ロータリー財団奨学生としてイタリアに留学。G・ニコリーニ国立音楽院に学ぶ。また、2009 年、文化庁新進芸術家在外派遣研修員としてニューヨークに留学。第8回全国ソリストコンテスト優秀賞(声楽部門第1位)これまでに小澤征爾音楽塾特別演奏会「カルメン」、二期会公演「仮面舞踏会」、宮本亜門演出「椿姫」、「ナタリ島のアリアドネ」、P・コンヴィチューニ演出「サロメ」、文化庁新進音楽家育成公演「ロベアアの戴冠」、N響定期公演「ラ・ボエーム」など数多くのオペラに出演。「椿姫」アルフレード、「蝶々夫人」ピンカートン、「カルメン」ドン・ホセ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」トゥリッドゥ、「コジ・ファン・トゥッテ」フェランド、「ドン・ジョヴァンニ」オッターヴィオ、などに出演。オペラ界のトップスターを集めた男性ユニット「ザ・ジェイド」の一員としても活躍している。二期会会員。



▼紀尾井ホール会場地図



▼ACCESS 最寄駅

- 四ツ谷駅(JR線・丸の内線・南北線) 麴町口徒歩6分
- 麴町駅2番出口(有楽町線) 徒歩8分
- 赤坂見附駅D出口(銀座線・丸の内線) 徒歩8分
- 永田町駅7番出口(半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分